

令和4年度三次市学力到達度検査結果分析及び指導改善計画

三次市立作木中学校

1 国語

| | 【教科指導について】 数値は、本校と（全国）の正答率（%）を半角で記入 | | 【学習に対する意識について】 | 【教科指導工夫改善の取組み】 | |
|------|--|----------------|--|---|---|
| | 観 点 等 | 結果数値 | | | ○成果、●課題の特徴 |
| 第1学年 | 総合 | 55.8 (59.0) | ○75%の生徒は全国平均を上回り「国語は大変よくできました」との評価だった。 ○文学的文章では、表現の効果や登場人物の心情について描写をもとに捉えることができている。 ●「文章を書く」問題に大きな課題がある。自分の考えとその根拠を条件に従って書く訓練が必要である。 | ○国語の勉強が日常生活で役立つか」という質問に対し、「ある、どちらかといえはある」と答えた生徒が75%いる。 ●「わからない言葉があるときは国語辞典（電子辞書を含む）を使うか」という質問に対し、「使わない」と答えた生徒が50%いる。 | ・文章を書くためには語彙の獲得が必須であるため、言葉の意味調べや短文作りを丁寧に行い、語彙の定着を図る。 ・決まった文型に当てはめながら、条件に従った文章をスモールステップで書き、徐々に文字数を増やしていく。 |
| | 基礎 | 64.7 (65.7) | | | |
| | 活用 | 38.9 (46.3) | | | |
| 第2学年 | 総合 | 76.7 (68.5) | ○80%の生徒は全国平均を大きく上回り「国語は大変よくできました」との評価だった。 ○文法・語句に関する事項の正答率は80%と高水準だった。 ●「文章を書く」問題に大きな課題がある。自分の考えとその根拠を条件に従って書く訓練が必要である。 | ○国語の勉強が日常生活で役立つか」という質問に対し、「ある、どちらかといえはある」と答えた生徒が100%だった。 ●月に何冊ぐらい本（マンガ・雑誌を除く）を読むか」という質問に対し、「ほとんど読まない」と答えた生徒が33.3%いる。 | ・文章を書くためには語彙の獲得が必須であるため、言葉の意味調べや短文作りを丁寧に行い、語彙の定着を図る。 ・決まった文型に当てはめながら、条件に従った文章をスモールステップで書き、徐々に文字数を増やしていく。 |
| | 基礎 | 80.0 (74.9) | | | |
| | 活用 | 70.0 (55.6) | | | |
| 全体 | ○漢字、語句、文法、古典の基礎知識などの反復練習を取り入れてさらなる定着を図る。 ○文学的文章では、場面の設定や、登場人物の心情を捉え、説明的文章では内容を要約したり、問われ方に対する答え方を徹底的に習得させたりなど工夫し、さらなる定着を図る。 ●さまざまな条件に合わせて文章を書く訓練をするとともに、自分の考えを表現する場を引き続き設定する。 | | ・国語の学習に高い意欲関心を示し、実生活に役立つと肯定的に捉えている生徒が多い。 ・ほとんど読書をしない生徒がおり、わからない語句を自主的に調べる生徒も全員ではない。 | ・語彙力を獲得するため、意味の分からない語句はすぐに調べる習慣を身につけさせる。 ・国語への興味や関心をさらに高めていくために、読書推進やパフォーマンス課題を強化していく。 | |

2 社会

| | 【教科指導について】 数値は、本校と（全国）の正答率（%）を半角で記入 | | 【学習に対する意識について】 | 【教科指導工夫改善の取組み】 | |
|------|--|----------------|---|---|--|
| | 観点等 | 結果数値 | ○良い点, ●課題 | | |
| 第1学年 | 総合 | 62.5 (61.5) | ○「南アジアの産業について、複数の資料をもとに考察し、表現している」の正答率が75.0% (39.8%) であり、資料の読み取り、活用はある程度できている。 ●「日本の領土について理解している。」の正答率が0% (33.5%) 「聖徳太子の政治について理解している。」の正答率が25.0% (58.6%) であり、地理的な分野、歴史的な分野ともに基礎的な知識・理解に課題がある。 | ○「社会の勉強は好きですか。」について、「好きだ」の回答が100%であり、意欲的に学習ができている。 ●「社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心を持つようになりましたか。」について、「関心がない」の回答が50.0%であり、社会的な出来事への関心が社会的な出来事への関心が低い。 | ・基礎的な知識・理解を身に付けるため、学習内容を繰り返す時間を充実させる。また、資料の読み取りも十分とは言えないため、資料の読み取り、表現する時間を設ける。 ・学習した内容を実生活の出来事と関連付け、新聞やニュースの内容への関心を高める。 |
| | 基礎 | 63.6 (65.3) | | | |
| | 活用 | 59.4 (51.0) | | | |
| 第2学年 | 総合 | 61.0 (48.7) | ○地理的な分野は69.3% (53.8%)、歴史的な分野は52.7% (43.6%) の正答率があり、全国平均を上回っている。 ●「江戸時代の幕藩体制について資料を読み取っている。」の正答率が0.0% (24.3%)、「九州、中国・四国、近畿地方の工業の特色について、複数の資料に着目して考察している。」の正答率が20.0% (35.5%) であり、資料の読み取り、活用に課題がある。 | ○「社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心を持つようになりましたか。」について、88.8%の肯定的な回答があり、社会的な出来事への関心が高い。 ●「わからない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか。」について、66.6%の否定的な回答があり、疑問を調べる態度が身に付いていない。 | ・資料を読み取る視点を与え、資料の読み取り方を身に付けさせる。また、読み取った資料から根拠を明確にして表現する学習を行う。 ・学習のまとめ等において、探求的な学習を行う。タブレット等を使って、自らが設定した課題について調べさせ、疑問を調べる態度を身に付けさせる。 |
| | 基礎 | 67.5 (53.6) | | | |
| | 活用 | 48.0 (38.9) | | | |
| 全体 | ○正答率が、1年生62.5% (61.5%)、2年生61.0% (48.7%) と全国平均を上回っている。 ●資料の読み取ることや資料をもとに表現する問題の正答率が低い。 | | ○社会を学習することに肯定的な回答をしている。 ●1.2年生ともに実生活の社会的事象に対する疑問を調べる態度が身に付いていない。 | ・資料を読み取る、読み取った内容を表現する学習を充実させる。 ・課題を探求する時間を設け、疑問を調べる態度を身に付けさせる。 | |

3 数 学

| | 【教科指導について】 数値は、本校と（全国）の正答率（%）を半角で記入 | | 【学習に対する意識について】 | 【教科指導工夫改善の取組み】 | |
|------|--|----------------|---|---|--|
| | 観点等 | 結果数値 | ○良い点, ●課題 | | |
| 第1学年 | 総合 | 52.3 (50.9) | ○「1次方程式の等式の性質を理解している。」(100%),「分数を含む1次方程式を解くことができる。」(75%)など基礎的な操作により解を求めること問題は比較的正答率が高い。 ●「具体底な事象についてyがxに反比例であることをもとにその式を立式できる。」が0%というように、事象を捉えて数式化することができない。 | ○「数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか。」について、「好きだ」が75%と比較的高い。 ●「問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。」について、「どちらかといえば考えようとしていない」が50%である。 | ・意識調査にもあるように、生徒は自分の考え方を発表することが好きなので、生徒の考え方を生かし、意味付け価値づけしながら学習活動を進める。 ・多様な解き方を考えることの意義を実感させる。 |
| | 基礎 | 66.7 (59.1) | | | |
| | 活用 | 9.4 (26.2) | | | |
| 第2学年 | 総合 | 60.3 (50.5) | ○「代入法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。」(90%),「連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。」(70%)など数式分野の正答率が高い。 ●説明問題「各位の数の和が3である3けたの自然数は、3の倍数であることの説明を完成させることができる。」 | ○「数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか。」について、肯定的評価が100%と非常に高い。 ○「問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。」について、肯定的評価が77.7%と比較的高い。 | ・意識調査にもあるように、生徒は自分の考え方を発表することが大変好きなので、生徒の考え方を生かし、意味付け価値づけしながら学習活動を進める。 ・引き続き問題文の読み取りの視点もおさえていく。 ・説明問題については、説明の構成や論理的な展開の重要性を理解させる。 |
| | 基礎 | 66.0 (57.3) | | | |
| | 活用 | 42.5 (29.6) | | | |
| 全体 | ○基礎的な内容については、全国平均を上回っている。 ●活用については、課題がある。 | | ○「数学の時間に、いろいろな考え方を発表し合うことは好きですか。」についての肯定的評価が高い。 | ・生徒の考えを生かしながら学習を仕組む。 | |

4 理 科

| | 【教科指導について】 数値は、本校と（全国）の正答率（%）を半角で記入 | | 【学習に対する意識について】 | 【教科指導工夫改善の取組み】 | |
|------|---|----------------|--|---|---|
| | 観点等 | 結果数値 | ○成果、●課題の特徴 | ○良い点、●課題 | |
| 第1学年 | 総合 | 55.2 (56.9) | ○活用における正答率は、全国平均を上回り良好であった。 ●領域別において、粒子概念に関する「物質とその性質：41.7%（59.6%）」「水溶液の性質：43.8%（60.3%）」の正答率が低い。 | ○「理科の勉強は好きですか。」「理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。」についての回答は、肯定率 100%であった。 ●「自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などよく見えていますか。」についての回答は、肯定率 25.0%で低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 物質の水への溶解について、粒子モデルを用いて視覚的に捉えさせる。 物質の水への溶解度を、溶解度曲線のグラフから考察できるように、演習問題のドリル学習を通して知識理解を深める。 |
| | 基礎 | 52.4 (55.4) | | | |
| | 活用 | 62.5 (60.9) | | | |
| 第2学年 | 総合 | 54.1 (48.8) | ○基礎・活用及び領域別における正答率は、すべて全国平均を上回り良好であった。 ●「化学変化」に関する正答率が 36.1%（42.0%）と低い。 | ○「理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。」についての回答は、肯定率 100%であった。 ●「理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか。」についての回答は、肯定率 55.5%とやや低い。 | <ul style="list-style-type: none"> 化学変化に関わる実験結果について、反応前後の化合物の組成や質量保存の法則について、原子や分子のモデル図を活用して視覚的に理解させる。 演習問題で、知識を定着させ、科学的思考力を向上させる。 |
| | 基礎 | 56.0 (51.5) | | | |
| | 活用 | 47.6 (40.0) | | | |
| 全体 | <ul style="list-style-type: none"> 各領域の問題に対する正答率の結果から、全体的に、基礎的な知識・技能や科学的な思考力の高まりがみられる。 | | ○「理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。」についての回答は、肯定率 100%であった。 ●「自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などよく見えていますか。」についての肯定率は、1年 25.0%、2年 55.5%で低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の目的に応じて、多様な方法があることを提示していく。 観察・実験では、いろんな事物や現象について、問題（課題）を見いださせ、見通しをもった学習活動の場を設定していく。 | |

5 英語

| | 【教科指導について】 数値は、本校と（全国）の正答率（%）を半角で記入 | | 【学習に対する意識について】 | 【教科指導工夫改善の取組み】 | |
|------|---|----------------|--|---|--|
| | 観点等 | 結果数値 | ○良い点, ●課題 | | |
| 第1学年 | 総合 | 48.4 (51.4) | ○「3文以上の英作文」では、理由や説明を相手に分かりやすく書くことについては、100%できていた。帯活動のスマールトークやスピーチで練習してきたことが活かされた。 ●「場面に応じて書く英作文」について、正答率は0%であった。会話の流れを理解できていないこと、疑問文の語順が身につけていない。指導者と生徒のやり取りでは、指導者からの問いかけに答えるのみになってしまう。生徒に疑問文を言わせる機会を十分に設けていなかった。 | ○「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。」の問いに100%の生徒が肯定的に答えている。英語をコミュニケーションのツールとしてとらえている。 ●「英語の辞書を使いますか。」の問いに、75%の生徒が否定的に答えている。5 ラウンドシステムによる授業においては、今後指導していく予定である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3 min. Writingにおいて、語数を増やすとともに、活動の後に振り返りをさせて正しく書く力を高めていく。 ・ラウンドの時間を十分に取って、正しい英文にたくさん触れさせて身に付けさせる。 |
| | 基礎 | 47.7 (54.2) | | | |
| | 活用 | 50.0 (44.6) | | | |
| 第2学年 | 総合 | 53.8 (54.2) | ○「聞くこと」の正答率は72.8%であり、同集団前年度（44.0%）を大きく上回った。ラウンドシステムにより繰り返し聞かせる指導に効果があった。 ●「場面に応じて書く英作文」の正答率は、0%であった。場面に応じた表現を身に付けることができている。また、疑問文を話す、書く機会が不足している。 | ○「英語の勉強は好きですか。」の問いに77.7%の生徒が肯定的に答えている。全国平均の52.6%を上回っている。 ○「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか。」の問いに「ある」と答えている生徒が77.8%おり、全国平均の38.0%を大きく上回っている。英語をコミュニケーションのツールとしてとらえている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3 min. Writingにおいて、語数を増やすとともに、活動の後に振り返りをさせて正しく書く力を高めていく。 ・ラウンドの時間を十分に取って、正しい英文にたくさん触れさせて身に付けさせる。 |
| | 基礎 | 55.1 (56.8) | | | |
| | 活用 | 51.1 (48.6) | | | |
| 全体 | ○1学年は「長文の読み取り」2学年は「さまざまな英文の読み取り」の正答率が全国平均を大きく上回っている。概要や要点をとらえて読むことができている。 ●1学年、2学年とも基礎問題に課題がある。正しく書くことができていない。 | | ○授業以外でも英語を使用しようとする意識がある。 ●辞書をあまり使わない傾向にある。iPadの使用により、生徒自身が辞書を使用する必要性を感じていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒のやり取りを通して、場面に応じた表現を意識させる。 ・ラウンドの時間を充実させ、テキストインプットを強化する。 ・3年間で総合的な英語の力をつけていくための年間指導計画の見直しを行う。 | |

6 生活と学習に関する意識・実態

| 学年 | ○一層定着させたい点、●改善したい点 ※合わせて2つ程度 | 課題に対する具体的な取組 ※2つ程度 |
|------|---|--|
| 第1学年 | <p>○「勉強すれば、自分は分からないことでも自分の力で答えを見つけられるようになる」「勉強すれば、自分のふだんの生活や社会に出て役立つ」の回答は100%で、勉強する目的や意味に対して肯定的に捉えている。</p> <p>●家庭学習に関わる項目では、「宿題があるときだけする」が50%、「宿題がなくてもほとんど毎日する」が0%、「宿題が無い時でも時々する」が25.0%で、家庭学習が十分に定着しておらず、自分で課題を設定して自主学習をすることには、ほとんど取り組んでいない傾向にある。</p> | <p>・教育相談や学習相談を効果的に活用しながら、個別の生活課題や学習課題の改善につながる教育的支援を行う。</p> |
| 第2学年 | <p>○「勉強すれば、自分はいいい成績がとれる」「勉強すれば、自分の受検に役立つ」「勉強すれば、自分の好きな仕事につくことに役立つ」等、勉強について肯定的な回答が全国平均を上回っている。</p> <p>○「授業の中でわからないことがあったらどうすることが多いか」については、先生にたずねたり、友達に聞いたりして、校内で解決しようとする生徒がほとんどである。</p> <p>●「学校の授業以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか」の項目では、1時間より少ない生徒が、平日で66.6%、土日でも33.3%で、家庭学習での学習時間が少ないことがわかる。「宿題がなくてもほとんど毎日する」と回答した生徒は11.1%で、家庭学習の内容がほぼ与えられた課題のみとなっていることがわかる。</p> | <p>・進路指導などを通して、自主的な学習の意義を再確認させる。</p> <p>・教育相談や学習相談を行い、学習に対する個別の課題を把握し、各教科担当とも連携しながら指導や支援を行う。</p> |
| 全体 | <p>○1・2学年とも「授業の中でわからないことがあったらどうすることが多いか」については、先生にたずねたり、友達に聞いたりして、校内で解決しようとする生徒がほとんどである。</p> <p>●1・2学年とも「ふだん家庭でしている勉強」については、「宿題がなくてもする」が少ない。</p> | <p>・教育相談や学習相談、学習面談をより充実させる。</p> |